

この消火器…新規格？旧規格？

～消火器の型式失効について～

商業施設や飲食店など身近なところでも目にする消火器。この消火器が、経過年数や保管状況により錆びるなど劣化することで、**破裂事故**が発生しています。



このような事故を防ぐため・・・

10年前の法改正により旧規格の消火器は

2021年12月31日を過ぎると適正な消火器として認められなくなり**ます**。これを、**型式失効**といいます。そのため、それまでに旧規格の消火器から新規格の消火器へ**交換**する必要があります。

また、消火器の設置が義務づけられている建物(防火対象物)では、新規格の消火器でも**製造から10年**を経過した消火器については、「**耐圧性能点検(水圧試験)**」が義務付けられ、**以降3年ごと**の耐圧試験が必要となります。



★新旧規格消火器の見分け方★

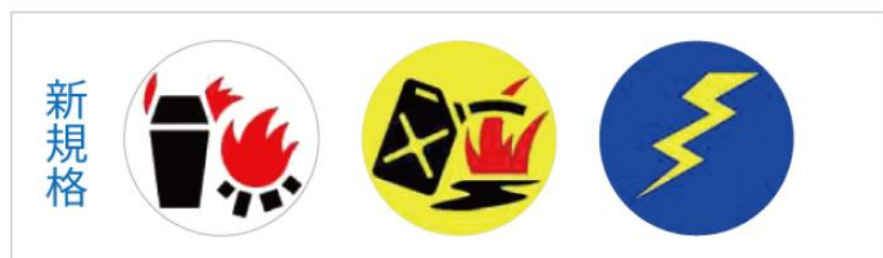


適応火災の表示の○●●を
チェックしてください。

適応火災が「文字」で表示されていたら「旧規格」の消火器



適応火災が「絵」で表示されていたら「新規格」の消火器



※一般社団法人日本消火器工業会 HP 参照

★簡単に見分けることができます★

★住宅用消火器について★

住宅用消火器やエアゾール式簡易消火具を設置される家庭が増加しています。住宅用の消火器具も劣化すると**重大な事故**が起こる可能性があります。住宅用消火器具には点検の義務はありませんが、安全に使用するために、次のことに注意しましょう。

住宅用消火器具にも寿命があります！

住宅用消火器具にも使用有効期限または品質保証期間があり、外観に記入されているのでよく確認しましょう。

半年に1回程度チェックしましょう！

ゲージの針は緑色の範囲内にあるか、本体に傷やへこみ等はないか半年に1回程度住宅用消火器をチェックしましょう。

劣化したものは新品のものと交換しましょう！

へこみ、底部の腐食や指針が緑色の範囲外のものは、新品のものに取替えましょう。

★各家庭に設置されている消火器を、今一度、御確認ください。★

火災予防に御協力お願いします。

